

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立倉敷中央高等学校		
実践者等	末澤工子	実践日	令和3年11月10日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	芸術科 書道演習Ⅱ		
対象生徒(学年等)	3年 創造文化系書道選択者7名		
单元名 (教科・科目の場合のみ)	普通科展(卒業制作展)に向けて ～中間発表会～		
使用したアプリ等	Jamboard、スライド、Forms、カメラ		
実践の概要(ねらい等)	<ul style="list-style-type: none"> Google スライドで2か月間の作品の経過を記録し、自己の課題を見つけて工夫改善を行う。 本時はオンライン配信の実施により、端末の操作方法を習得する。(県下の書道教師に向けての研修会を兼ねる) 振り返りの活動を Jamboard で行う。 		

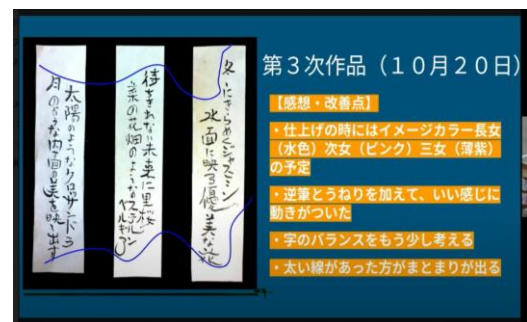
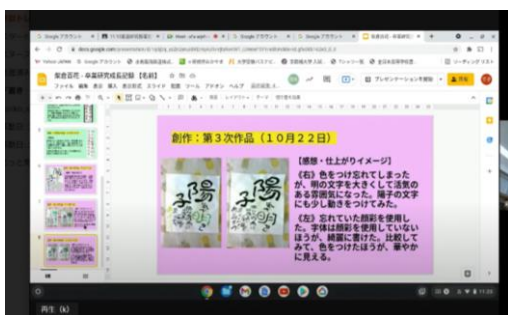
実践の内容

(1) 9月～10月の取組内容

- 3月の普通科展に展示する古典臨書作品と創作作品《テーマ：家族へ贈るお名前ポエム》の記録を撮り、「成長記録」として Google スライドで残していく。12月末の作品締め切りを前に、中間発表会(作品鑑賞会)を設ける。
- 鑑賞学習に Jamboard を使用する。
- 【ポイント】ポートフォリオとして作品の蓄積および PDCA サイクルを意識した作品の修正や改善を継続的にを行い、よりよい作品制作を目指す。

(2) 図書館にて Google スライドによる中間発表会を実施、オンライン配信を行う。

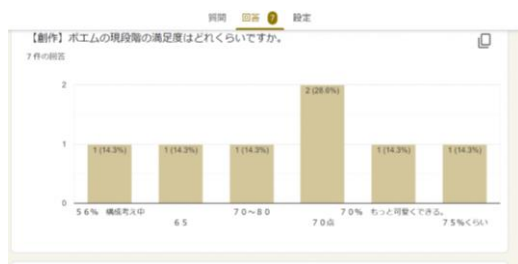
- 発表者 A がスライドの解説や紹介、これからどうしていきたいかプレゼンする。
- 鑑賞者 B～G が作品の批評を行う。(発表4分、コメント1分、A～G まで行う。)



(3) 本時の振り返りを Jamboard に入力する。

- 感想を入力した後、振り返りの観点3つのどの分野に相当するか自分で分類させる。

(4) 後日 Forms で事後アンケートを入力する。



参考となる HP 等